

保津川かわまちづくりについて

背景

- 桂川は、「保津川」という呼び名で親しまれ、沿川の田畑を潤すとともに、長岡京や平安京の造営時に丹波山地からの木材を運び、江戸時代には角倉了以の保津峡開削によって、食料をはじめ多くの物資を丹波から京都に運ぶなど、**地域の発展に重要な役割**を果たしてきた
- 一方、この保津川は、一度洪水になると保津峡によって水位が著しく上昇し、たびたび**氾濫を繰り返**し、**亀岡の歴史は水害との戦いの歴史**とも言われるほど多くの被害をもたらしてきた
- このような中、日吉ダムによる洪水調節と河道改修による治水対策が、鋭意、進められてきたところであり、平成10年には**日吉ダムが完成**、引き続き、**河道改修についても着実に進展**し、今日では以前に比べ治水安全度は飛躍的に向上した
- これからは、引き続き、**河川改修を段階的かつ着実に進め**るとともに、人々の暮らしと深く関わり続けてきた保津川の歴史や文化を踏まえながら、改修に伴ってあらたに創出される**広大な河川空間の利活用**をはじめ、**川をいかした新たなまちづくり**が期待されている

・川の特徴をいかした
まちづくり

・まちの魅力をいかした
川づくり



「保津川かわまちづくり」

保津川かわまちづくりについて

保津川かわまちづくり検討委員会

京都府と亀岡市では、川をいかしたまちづくり、まちをいかした川づくりを推進していくための「保津川かわまちづくり計画」を策定することとし、学識経験者等からなる検討委員会を設置し検討を進めている。

<開催状況>

■ 第1回検討委員会 (H21.12/28開催)

- ・河川と流域の概要
- ・河川整備の現状
- ・まちづくりの現状
- ・かわまちづくりの方向性

■ 現地調査 (H22.2/5開催)

■ 第2回委員会 (H22.3/5開催)

- ・かわまちづくりの目標、整備方針及び施策メニュー案
- ・実現方策等

	氏 名	現 職 等
委員	石田 紀郎(いしだ のりお)	人間環境大学環境教育センター特任教授 ◎委員長
委員	岩田 明久(いわた あきひさ)	京都大学大学院アジアアフリカ地域研究研究科教授
委員	藤本 英子(ふじもと ひでこ)	京都市立芸術大学美術学部美術研究科准教授
委員	道奥 康治(みちおく こうじ)	神戸大学大学院工学研究科教授
委員	小川 博(おがわ ひろむ)	亀岡市自治会連合会会長
委員	古谷 弘志(ふるたに ひろし)	亀岡市桂川改修促進期成同盟委員長
委員	関口 征治(せきぐち まさはる)	亀岡市桂川改修促進期成同盟委員
委員	井内 邦典(いのうち くにのり)	亀岡市桂川改修促進期成同盟委員
委員	松原 栄一(まつばら えいいち)	亀岡市桂川改修促進期成同盟委員
委員	渡邊 裕文(わたなべ ひろふみ)	亀岡商工会議所会頭
委員	酒井 国生(さかい くにお)	保津川漁業協同組合代表理事組合長
委員	小西 勝(こにし まさる)	保津川遊船企業組合代表理事
行政		亀岡市企画管理部長 亀岡市まちづくり推進部長 京都府南丹広域振興局企画総務部長 京都府南丹土木事務所長

事務局 京都府南丹土木事務所河川砂防室、亀岡市まちづくり推進部桂川・広域交通課